

クラシック音楽情報満載

ぶらあぼ + *Danza* inside
ダンツァ

Classical Music
+ Dance

2015

12

—巻末—
バレエ
&
ダンス情報
Danza
ダンツァ



三浦文彰 (ヴァイオリン)

チャイコフスキー&メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲

Interview

三枝成彰
三浦文彰
下野竜也&三浦 基
シルヴィ・ギエム

パスカル・ヴェロ
トーマス・ザンデルリンク
福川伸陽&三浦友理枝
市原 愛 青柳 晋
服部百音 大谷康子

グザヴィエ・ドゥ・メストレ
オッタヴィアーノ・クリストーフォリ
小川里美&山口安紀子
上村文乃 山田和樹
渡邊方子 諏訪内晶子

Take Free
¥0

国連難民援助活動支援チャリティーコンサート

5人の指揮者 × 5人のピアニスト × 4人の声楽家 × ベートーヴェン

ベートーヴェンの「平和のメッセージ」を壮大に謳う

文：渡辺謙太郎



曾我大介



西谷 亮



高橋 望



中村太地



辰巳真理恵

内容、規模、そして理念。どれも実に壮大な公演だ。世界各地の難民活動を支援すべく、指揮者5名、ピアニスト5名、声楽家4名、そして1つのオーケストラが年の瀬に集う。プログラムはオールベートーヴェン。平和や人類愛を歌うのに、これ以上ふさわしい作曲家はいないだろう。しかも今回は、ピアノ協奏曲全5曲、ヴァイオリンのためのロマンス全2曲、交響曲第9番「合唱付」(全曲)を1日で演奏するというから凄い。

指揮者は、曾我大介や西谷亮ら、実力派が交替で登場。管弦楽のプロッサム・フィル(2008年結成の新生楽団)で音楽

監督を務める西谷は、司会も担当する。ピアノ協奏曲のソリストも実力派揃いで、個性豊かな面々が並ぶ。中でも、ドイツで巨匠ベーター・レーゼルに学んだ高橋望がソロを弾く第5番「皇帝」は、作品への深い共感と歌心に満ちた名演が期待される。また、「2つのロマンス」では、同フィルの客演コンサートマスター・中村太地がソロを担当。今年のブラームス国際コンクール第3位の若き名手が真価を示す。

そして「第九」の指揮台には、この作品を幾度となく指揮している曾我が登場。俳優・辰巳琢郎を父に持つ注目のソプラノ・辰巳真理恵らとともに、シラーの理念をベートーヴェンが昇華させたモットー「抱き合え、全世界の人々よ」を高らかに歌い上げる。

なお、公演の収益の一部と当日行われる募金は、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) を通じて、世界各地の難民援助活動に役立てられる。

12/28(月)15:00 ティアラこうとう (21:00終演予定)

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 1F プロッサムフィルハーモニックオーケストラ03-5621-2636 <http://www.blossom-phil.or.jp>

トミー・レオ(ピアノ)

驚異的な才能、また一人出現

文：笹田和人

瑞々しい才能に、いち早く触れられるチャンスだ。弱冠14歳ながら、数々の国際コンクールで実績を重ね、各国



の第一線オーケストラと次々に共演を果たすなど、国際的な活躍を続けているピアニスト、トミー・レオ。素晴らしい音響と、小規模ホールならではの聴衆との距離の近さが魅力のsonoriumを舞台に選んで、鮮烈な音色をほとばしらせる。

レオはシンガポール生まれ。幼少期を東京や香港で過ごし、3歳からピアノを始め、紅林こずえらに師事。4歳にしてリサイタルを開き、ラニー・シュル・マルヌ国際コンクール(フランス)を制するなど、多くの登壇門で入賞。フランスやドイツ、韓国など世界中の音楽祭に出演する一方、アメリカのロチェスター・フィルなどオーケストラとも共演。「14歳とは思えぬ、成熟した表現と、

感受性に富んだ音楽性」と絶賛されている。2013年からはロンドンで、王立音楽院教授のクリストファー・エルトンの薫陶を受けている。

今回のリサイタルは、スクリャーピンの「幻想ソナタ」を軸に。ここへ、バッハ「トッカータ長調」やベートーヴェンのソナタ第21番「ワルトシュタイン」から第1楽章、リスト「超絶技巧練習曲」から第10番、アルベニス「イベリア」第1巻から第3曲「セビーリヤの聖体祭」、チャイコフスキー「6つの小品」より第6番、さらにはリグティ「リセルカータ音楽集」からの4曲など、きら星のごとき作品を添えて。ラインナップの多彩さだけでなく、その才能と音楽性の非凡さがうかがえよう。

12/27(日)14:00 sonorium

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 1F e-mail:konzue.red.forest.2186@docomo.ne.jp <http://www.sonorium.jp>